



2023年11月14日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ
代 表 取 締 役 社 長 中 村 孝 也
(東証グロース市場・コード 3807)
問 い 合 わ せ 先 :
取 締 役 管 理 本 部 長 岡 本 純 子
電 話 番 号 03 (5774) 2440 (代表)

非連結決算への移行、2023年12月期通期個別業績予想および営業損失等の計上に関するお知らせ

当社は、2023年12月期第3四半期決算より非連結決算へ移行いたしますので、2023年2月20日付の「2023年12月期決算短信」にて公表いたしました2023年12月期の連結業績予想の代わりとして、2023年12月期個別業績予想の数値を算出するとともに、営業損失、営業外収益、特別利益および特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 非連結決算への移行理由

2023年2月28日付の「連結子会社の吸収合併に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、当社を存続会社とし、当社の完全子会社である株式会社フィスコ・コンサルティングを消滅会社とする吸収合併について、2023年7月1日付で予定どおり完了いたしました。

その結果、連結子会社が存在しなくなったことによるものです。

2. 個別業績予想について

2023年12月期個別業績予想数値(2023年1月1日～2023年12月31日) 単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 660	百万円 △410	百万円 △331	百万円 △314	円 銭 △6.87
前期実績 2022年12月期	1,183	168	229	△2,760	△60.35

(注) 当社は、2023年7月1日付にて連結子会社であった株式会社フィスコ・コンサルティングを吸収合併したことにより、連結子会社がなくなることから、2023年12月期(通期)は個別決算による開示となりますが、業績予想の対前期増減率は比較対象が異なるため記載しておりません。

3. 個別業績予想の内容について

情報サービス事業において、法人向けリアルタイムサービス及びアウトソーシングサービスが減少、フィスコブランドを活用したプラットフォームの利用に暗号資産の国内における売買低迷が影響し、広告売上が減少したこと、また、統合報告書などの受注が振るわなかったことにより、

売上高が前回発表予想の 1,274 百万円から 855 百万円に、暗号資産・ブロックチェーン事業において、暗号資産に対する自己勘定投資を行っていることから、損益の純額を売上に計上しており、保有する暗号資産の評価損などの計上により、売上高が△303 百万円となり、想定を下回ることが予想されます。この結果、営業利益が、営業損失 410 百万円に、上記に付随して、経常損失、当期純損失を計上する業績予想に修正いたしました。

(ご参考)

「2022 年 12 月期決算短信」にて公表いたしました 2023 年 12 月期連結業績予想数値 (2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日) 単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
通期	百万円 1,318	百万円 168	百万円 160	百万円 157	円 銭 3.42
前期実績 2022 年 12 月期	1,071	46	73	△2,750	—

4. 営業損失の内容

暗号資産・ブロックチェーン事業におきましては、保有する暗号資産の評価損 303 百万円の計上により、売上高△303 百万円となりました。

5. 営業外収益の内容

今年新設した投資銀行事業における新規事業として、組成したバリュアアップファンドのクロージングに伴い 76 百万円を「匿名組合投資利益」として営業外収益に計上するものです。

6. 特別利益および特別損失の内容

本吸収合併の合併効力発生日 (2023 年 7 月 1 日) において、消滅会社となった株式会社フィスコ・コンサルティングから受け入れた資産及び負債と当社が保有していた株式会社フィスコ・コンサルティングの株式 (抱合せ株式) の帳簿価額の差額である 1,193 百万円を、「抱合せ株式消滅差損」として特別損失に、また、株式会社フィスコ・コンサルティングに対する貸倒引当金 1,200 百万円を「貸倒引当金戻入額」として特別利益に、当社の 2023 年 12 月期第 3 四半期財務諸表において計上するものです。

以 上